

サステナビリティ基礎講座 2026

2026年度の「サステナビリティ基礎講座」は、4月から7月にかけて全5回シリーズで開催します。この基礎講座では、サステナビリティの基本的な考え方と最新の潮流を知り、サステナビリティ経営を日々実践しておられる企業の応用例を学びます。新たにサステナビリティ/社会貢献ご担当になった方やあらためて学びたい方だけでなく、部署のありかたについて再構築したい方にお奨めいたします。会場での対面開催ですので、各回の講師および他社・他業種とのネットワークづくりにもぜひご活用ください。参加お申し込みは、全5回通しまたは各回ごとに承ります。

<第1回>

4.24(金)



社会変革を担う企業の役割と真のサステナビリティ経営

関 正雄 さん

損害保険ジャパン株式会社 カルチャー変革推進部 シニアアドバイザー
放送大学客員教授、社会構想大学院大学客員教授

<第2回>

5.12(火)



**正解のない旅の先頭に立つ
— サステナビリティ推進部署の役割と醍醐味**

福田 加奈子 さん

住友化学株式会社 顧問、前常務執行役員 サステナビリティ推進部長

<第3回>

5.25(月)



持続可能な地域づくり、人づくりに資する経営とは

渋沢 寿一 さん

NPO法人共存の森ネットワーク理事長

<第4回>

6.17(水)



**ヤングケアラー支援を核にした
経営者と従業員一体型の社会貢献**

野村 律心 さん

日本イーライリリー株式会社 執行役員 コミュニケーションズ本部長

<第5回>

7.3(金)



**フィランソロピー / CSR / ESG /
サステナビリティの経営統合と担当者の役割**

金田 晃一 さん

株式会社 NTT データグループ サステナビリティ経営推進本部シニア・スペシャリスト

時間：15:00～17:00（各回共通） 参加費（各回ごと）：5,000円（当協会会員は2,000円）

会場：≪第4回を除く各回≫

日鉄興和不動産株式会社

（東京・溜池山王）

≪第4回のみ≫

コニカミノルタジャパン株式会社

（東京・浜松町）

会場へのアクセスは裏面をご参照ください。

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244区
TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

<参加お申込み>

下記ホームページまたは
QRコードをご利用ください。



<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/sus2026/>

《講師プロフィール》

関 正雄 (せき まさお) さん

東京大学法学部卒。安田火災海上保険(現・損保ジャパン)に入社。2001年より同社のサステナビリティ経営推進に携わり、理事・CSR統括部長を経て現職。2022年3月まで明治大学経営学部特任教授、2022年4月より放送大学客員教授、社会構想大学院大学客員教授を務める。専門分野は、企業と社会、マルチステークホルダー・ガバナンスなど。

社会的責任規格ISO26000作業部会エキスパートを務め、SDGsを組み込んだ2017年の経団連企業行動憲章改定には座長として関わるなど、産業界へのサステナビリティ経営浸透に尽力。現在、経団連において企業行動憲章タスクフォース座長、を務めるほか、CBCC(企業市民協議会)企画部会長、経団連自然保護基金運営委員、SDGsステークホルダーミーティング構成員(環境省)なども務める。

著書に『持続可能な社会と生活』(放送大学教育振興会)、『SDGs経営時代に求められるCSRとは何か』(第一法規)、『ISO26000を読む』(日科技連)、編著に『インパクト評価と価値創造経営』(第一法規)、『SDGs時代のパートナーシップ』(学文社)など。

福田 加奈子 (ふくだ かなこ) さん

1988年に関西学院大学理学部を卒業し、同年、住友化学工業株式会社(現・住友化学)に入社。大阪研究所(現・ICT&モビリティソリューション研究所)、東京本社 化成品事業部を経て、2013年よりCSR推進室(現・サステナビリティ推進部)にてサステナビリティ推進に従事。CSR推進室では、グループ横断でのサステナビリティ推進の枠組みづくりと浸透に取り組む。2020年に執行役員(住友化学ヨーロッパ)を経て、2024年から2026年3月まで常務執行役員(サステナビリティ推進担当)。2026年4月より住友化学 顧問。

「社会課題の解決に化学の力で貢献する」という創業以来のDNAを大切にしながら、地球規模の課題が一段と複雑化するいま、化学会社への期待はこれまで以上に高まっていると感じている。そうした思いのもと、サステナビリティ推進に取り組んできた。モットーは「スーパーポジティブ」。

渋沢 寿一 (しぶさわ じゅいち) さん

1952年生まれ。1980年東京農業大学大学院修了。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの企画、経営に携わる。現在は、NPO法人共存の森ネットワーク理事長。

全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する地域人材育成のための「なりわい塾」など、森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市(まにわし)では、1998年から、木質バイオマスを利用した地域内循環経済「里山資本主義」の推進に努める。2012年より世田谷区教育委員。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫(ひまご)。農学博士。著書に『森と算盤』(大和書房)ほか。

野村 律心 (のむら りつこ) さん

1992年より在日米国大使館農務省 農産物貿易事務所(Agricultural Trade Office)に勤務し、約10年間にわたり米国農産物の日本市場への輸入促進活動に従事。その後、日・米・仏の製菓企業において、パブリックアフェアーズ領域を中心にディレクター職を歴任するなど、官民および多国籍環境における豊富な経験を持つ。

2023年より日本イーライリリー株式会社 コーポレート・アフェアーズ本部長を経て、現在はコミュニケーションズ本部長。同社において「ヤングケアラー支援」や「女性活躍推進」などの社会課題解決に向けた取り組みを支援するとともに、「社会に存在する様々な見えない偏見」をなくすことを目的とした活動の支援をしている。こうした取り組みが評価され、同社は、当協会が主宰する第23回(2025年度)企業フィランソロピー賞《支える人を支える賞》を受賞した。McGill University MBA。

金田 晃一 (かねだ こういち) さん

ソニー渉外部通商政策課、在京米国大使館経済部通商政策担当、ブルームバーグテレビジョン・アナウンサーを経て、1999年以降、ソニー(再入社)、大和証券グループ本社、武田薬品工業、ANAホールディングス、NTTデータグループの5社にてサステナビリティ経営を推進。国連GC・LEADプログラム・メンバー、IIRC統合報告パイロットプログラム・メンバー、内閣府「新しい公共」円卓会議構成員、日本経団連・社会貢献担当者懇談会座長、日本NPOセンター理事、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科非常勤講師などを歴任。

現在は、国際協力NGOセンター理事、日本ソーシヤル・イノベーション学会理事、サステナビリティ日本フォーラム評議員、中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」運営委員会メンバー、全社協全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会メンバーを務める。レディング大学大学院経済学部修士課程修了(多国籍企業論)、慶應義塾大学経済学部卒業(国際経済論)。

《会場アクセス》

日鉄興和不動産株式会社

<所在地>東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティ AIR
<最寄駅>東京メトロ 銀座線・南北線「溜池山王駅」直結
千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」

<アクセス地図>



コニカミノルタジャパン株式会社

<所在地>東京都港区芝浦1-1-1 BLUE SHIBAURA TOWER S 10F
<最寄駅>JR・東京モノレール「浜松町駅」南口徒歩約6分
都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門駅」徒歩約12分

<アクセス地図>

